

「豊橋まちなか会議」設立

駅前大通 1〜3丁目 にぎわい創出へ方向性共有

豊橋駅東口の駅前大通1〜3丁目を中心としたエリアで民間が主体となつてまちづくり活動を行う「豊橋まちなか会議」の設立総会が25日、豊橋市駅前大通1のホテルアークリッシュ豊橋で開かれた。

特定区域で民間主体にまちづくりや地域経営を進めるエリアマネジメントとして、駅前大通地区に関わる企業や団体、自治会、大学などが会員となり、行政がオブザーバーで発足。今後のまちづくりを議論し、方向性を共有、活動を実施していく。

総会では、規約や役員を決定、会長にはサハラ

コーポレーション(同市)の神野吾郎社長を選んだ。今年度事業計画と予算も承認し、会員の加入を促進するほか、エリアの将来像を協議、課題を整理し、ビジョンをまとめる。エリア内の公共空間の活用として、豊橋駅南口駅前広場の利用方法の検討と利用促進、ホームページによるエリア情報発信などを行う。

中心市街地に関わる他の団体なども協力、連携していく。

神野会長は「店だけでなく、人々が集まるコミュニティをつくっていく

なければならぬ。この会議でつくっていったらと思う。今、まちなかに関わっている団体や企業、NPOともつなげていくことが必要」と述べた。

エリア内では、駅前大通2丁目地区で再開発事業が行われている。副会長は次の皆さん。小林宏之(総合開発機構社長)、黒野有一郎(豊橋駅前大通地区まちなかデザイン会議常務理事)(中村晋也)



豊橋まちなか会議の設立総会—ホテルアークリッシュ豊橋で